

NP0 法人 横浜港南国際交流の会

令和 7 年 通常総会議事録

1. 日時 : 令和 7 年 6 月 22 日 (日) 13 時 01 分～14 時 40 分
2. 会場 : 横浜市港南国際交流ラウンジ研修室
オンライン中継 (視聴のみで、表決や発言は不可) を行った。
3. 正会員数 : 158 名
4. 正会員出席者数 : 122 名 (内訳: 当日の出席者 24 名、事前の書面表決者 55 名、議長への委任表明者 42 名、ZOOM 視聴者なし)
5. 議題
 - 第 1 号議案 令和 6 年度事業報告について
 - 第 2 号議案 令和 6 年度決算報告について
 - 第 3 号議案 令和 7 年度事業計画について
 - 第 4 号議案 令和 7 年度活動予算案について
 - 第 5 号議案 任期満了に伴う役員改選案について
6. 議事経過および結果
 - (1) 13 時 01 分に司会の米永副理事長の開会宣言で、令和 7 年通常総会が開始した。
 - (2) 小倉理事長代行より以下のご挨拶があった。

「NP0 法人横浜港南国際交流の会は、外国人支援をする施設として常に外国人目線の事業を計画し、多文化共生のラウンジを目指して参りますので、本日もどうぞよろしくお願いいたします。」
 - (3) 定款第 26 条に従い、司会者は議長の立候補者がいないことを確認した後、議長に小倉理事長代行を推薦し、満場一致で選任された。
 - (4) 議長は、定款 27 条に従い、君嶋事務局長から出席者数が正会員数の過半数であることを確認し、本総会が成立したことを報告した。
 - (5) 議長は、事務局スタッフ 西浦を書記に推薦し、満場一致で選任された。
 - (6) 議長は、定款第 30 条第 2 項に基づき、議事録署名人に米永副理事長と山口監事を推薦し、満場一致で選任された。
 - (7) 第 1 号議案 令和 6 年度事業報告について
小倉理事長代行より説明が行われた。
次に、議長が事前の質問に以下のとおり、回答した。
質問 1 : 会員は増えているか? 減っているか? その推察される理由は?(年代別、男女別)
回答 1 : 現在 186 名。前年と同じ。前々年度より 8 名増。コロナ禍は 177 名だったのでそれよりは増加しているが、伸び悩みともいえる。年代別は 60 代、70 代で約 6 割を占める。50 代が 15%と少し増加してきている。男女別は、女性約 120 名、男性約 60 名と圧倒的に女性が多い。
会員が増えない理由としては、定年の延長、女性のフルタイム勤務増加、ボランティア活動が平日に多いことなどが挙げられる。
質問 2 : 会員の活動状況は?(各部会の参加割合、個人レッスンなど)
回答 2 : 日本語教室 (63 人)、個人レッスン (79 人) のボランティアとして活動している人が多い。情報広報、事業企画、学習支援は約 30 名が活動中。準会員ではあるが語学ボランティアも多数活動中。

質問 3 : 窓口スタッフの窓口部外への参加状況は？

回答 3 : 3 名が 2024 年度日本語ボランティア入門講座を受講。現在も 3 名が日本語ボランティアとして活動。情報広報部会参加 1 名。

質問 4 : ラウンジニュースに対する反響（反応）は？ アンケートをとるなど、反響のモニタリングはしているか？

回答 4 : 2024 年 10 月末発行号より、4 ページを 2 ページに減らすにあたり、送付施設へ部数の確認を行った際、ご意見などもいただいた。

部数を減らした施設もあったが、逆に増えた施設もあった。日本語教室の学習者にその言語版を配っている施設もある。

また、退会した人でも関係者にはメールで、ラウンジニュース発送日に、ラウンジニュースの URL を知らせているが、配信停止を希望する人は少なく、退会後も読んでいるという声も聞く。

その後、議長が質問、意見を伺ったが、何も出なかった。続いて、承認を伺い、満場一致で可決承認された。（書面表決者 55 名全員賛成、議長への委任表明者 42 名）

(8) 第 2 号議案 令和 6 年度決算報告について

君嶋事務局長から説明が行われた。次に事前の質問、意見に以下のとおり、回答した。

質問 1 : はっぱ・個人レッスンの子どもは無料にしてもよいのではないか。またボランティアに活動費を支給してほしい。

回答 1 : はっぱについては、2023 年度から 1000 円の協力費徴収を、テキスト代 300 円の徴収へ変更した。ボランティアの活動費（交通費相当）は以前から支給している。一方、個人レッスンについては、ラウンジ以外での学習を可とするため、ボランティアの交通費とテキスト代等の経費を学習者負担としている。これを無償にし、ボランティアに活動費のみ支給となれば、ボランティアの負担増となる可能性がある。今後の委託予算動向を鑑み、ボランティアと学習者双方にとって、よりよいあり方を検討していく。

質問 2 : ボランティアの交通費を全額支給してほしい。

回答 2 : 昨今の物価高騰で現在の活動費では交通費の一部しか賄えなくなっており、ボランティアの負担軽減策の検討が必要であると認識している。しかし、交通費の実費全額支給は当法人の収支と会計担当者負担を大幅に悪化するものと考えてるので、そうならない施策を検討したい。

その後質問、意見を伺ったが、なかった。

続いて議長が承認を伺い、異議なく満場一致で可決承認された。（書面表決者 55 名全員賛成、議長への委任表明者 42 名）

(9) 第 3 号議案 令和 7 年度事業計画について

小倉理事長代行から説明が行われた後、議長が質問、意見を伺い、次の質疑応答が行われた。なお、土屋理事から、日本語教室について、委託の数値が自主事業分との合計値になっており、自主事業分が欠如している誤りを報告された。後日、訂正して差し替える。

質問 1 : なぜ、「短期英会話」が事業企画部会の外国語教室ではなく、情報広報部会の活動に入っているのか？

回答 1 : 「短期英会話」の経緯としては、以前「短期英会話」を担当していた方が情報広報部会に所属していたから。

質問 2 : 防災啓発活動の企画はどのように進んでいるのか？

回答 2: 日本語部会と計画を進めており、港南消防署の職員による救急車の呼び方、消火器の使い方の講習を 7 月に開催する。また、防災センターへの見学ツアーの企画も進めている。

質問 3: 定款が改定したときの会員へのお知らせはどうなっているのか?

回答 3: 定款を改定する場合は、理事会の議事録に記載し、議事録はすべて正会員にメールで配信している。併せて、横浜市と法務局にも届けている。

続いて議長が承認を伺ったところ、異議なく満場一致で可決承認された。(書面表決者 55 名全員賛成、議長への委任表明者 42 名)

その後、播磨監事から、監査において業務並びに会計が適正に執行・処理されていたことを確認したことが報告された。また、改善指摘事項として、中長期のビジョンの作成、事業の優先順位明確化、会計担当と経理責任者の職務の再確認、新会員への定款配布の徹底が挙げられた。

(10) 第 4 号議案 令和 7 年度活動予算案について

君嶋事務局長から予算案について説明された。その後、質問、意見を伺ったが、特に出ず、続いて承認を伺ったところ、満場一致で可決承認された。(書面表決者 55 名全員賛成、議長への委任表明者 42 名)

(11) 第 5 号議案 任期満了に伴う役員改選案について

小倉理事長代行から説明が行われ、質問、意見を伺ったが、特に出ず、続いて承認を伺ったところ、満場一致で可決承認された。(書面表決者のうち 54 名賛成、議長への委任表明者 42 名)

選任された理事と監事は以下のとおり。

理事 小倉 恵 (重任)

理事 土屋 正敏 (重任)

理事 岩松 勝義 (重任)

理事 松田 美恵 (重任)

理事 森本 江利子 (重任)

理事 邵 芳 (重任)

理事 君嶋 哲也 (重任)

理事 高部 幸弘 (新任)

理事 中西 純子 (新任)

理事 北村 成江 (新任)

理事 岸 信男 (新任)

監事 山口 さち子 (重任)

監事 播磨 和男 (重任)

(12) 上記を以って議事がすべて終了し、議長は退任した。

(13) 北見賞表彰式

小倉理事長代行から、北見賞の説明と、第 10 回北見賞受賞者の紹介が行われ、表彰状と記念品が授与された。

受賞者 荻莊正巳氏、松岡勇氏

(14) 新任、退任役員の紹介と挨拶

前記の新任役員(岸氏は欠席)と、退任される米永副理事長、諏訪部理事、小山理事が、ご挨拶された。

(15) 司会者から閉会が宣言され、総会は終了した。

上記の結果を明確にするため、議長並びに議事録署名人において次に記名押印する。

令和7年6月22日

NPO 法人 横浜港南国際交流の会 通常総会

議 長 小倉 恵 印

議事録署名人 米永 乃里子 印

議事録署名人 山口 さち子 印